

21:17 そのとき、ティシュベ人エリヤに次のような【主】のことばがあった。

21:18 「さあ、サマリアにいるイスラエルの王アハブに会いに下って行け。今、彼はナボテのぶどう畑を取り上げようと、そこに下って来ている。

21:19 彼にこう言え。『【主】はこう言われる。あなたは人殺しをしたうえに、奪い取ったのか。』また、彼に言え。『【主】はこう言われる。犬たちがナボテの血をなめた、その場所で、その犬たちがあなたの血をなめる。』」

21:20 アハブがエリヤに「おまえは私を見つけたのか、わが敵よ」と言うと、エリヤは答えた。「そうだ。あなたが【主】の目に悪であることを行うことに身を任せたので、見つけたのだ。

21:21 『今わたしは、あなたにわざわいをもたらす。わたしはあなたの子孫を除き去り、イスラエルの中の、アハブに属する小童から奴隷や自由の者に至るまで絶ち滅ぼし、

21:22 あなたの家をネバテの子ヤロブアムの家のようにし、アヒヤの子バアシャの家のようにする。それは、あなたが引き起こしたわたしの怒りのゆえであり、あなたがイスラエルに罪を犯させたためだ。』

21:23 また、イゼベルについても【主】はこう言われる。『犬がイズレエルの領地でイゼベルを食らう。』

21:24 アハブに属する者で、町で死ぬ者は犬がこれを食らい、野で死ぬ者は空の鳥がこれを食らう。』」

21:25 アハブのように、自らを裏切って

【主】の目に悪であることを行った者は、だれもいなかった。彼の妻イゼベルが彼をそそのかしたのである。

21:26 彼は、【主】がイスラエル人の前から追い払われたアモリ人がしたのと全く同じように、偶像につき従い、非常に忌まわしいことを行った。

21:27 アハブはこれらのことばを聞くとすぐ、自分の外套を裂き、身に粗布をまとして断食をした。彼は粗布をまとして伏し、打ちひしがれて歩いた。

21:28 そのとき、ティシュベ人エリヤに次のような【主】のことばがあった。

21:29 「あなたは、アハブがわたしの前にへりくだっているのを見たか。彼がわたしの前にへりくだっているの、彼の生きている間はわざわいを下さない。しかし、彼の子の時代に、彼の家にわざわいを下さす。」

アハブのような悪王でも、このように主に少しでも従うならば、主はあわれみを表してください。主が生きておられ、主に従うということの大切さを教えようとなさるからです。

また逆に主に従わないならば、生ける主はその問題性を明かにするために、その者に懲らしめを与えます。または恵を差し引かれます。主に従って欲しいからです。従って絶大な恵を手にして欲しいからです。

ですから、主に従わない者や従わない行為に対して、従う者と同じ恵を与えてくださいと祈るのは、的が外れています。本当の愛は、彼が従えるように祈ることです。そして主からのあわれみと もっと大きな恵を受けることができるように…と祈ることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

